

会議録様式

審 議 会 名	令和5年度 第 7 回杉戸町新庁舎整備審議会
開 催 日 時	令和5年 7 月 14 日(金) 午後2時30分から午後4時30分まで
開 催 場 所	杉戸町役場 第三庁舎3階会議室
会 議 の 議 題	(1)基本理念及び基本方針(案)について (2)役場庁舎の導入機能について (3)規模及び事業手法等について
公開・非公開の別	☒ 公開 ・ 非公開 (傍聴者数 3 人)
出席委員氏名	石原 和夫、岩本 明美、佐々木 誠、藤岡 麻紀、井上 裕文、青木 一子

■審議の概要

1.開会

2.報告事項

(1)当日配布資料について

- ・石原委員からご提案いただいた、敷地の整形化と道の駅構想について検討した資料です。土地の所有区分と規模を整理しました。(事務局)
- ・国道と県道からの出入りを考慮した敷地形状、賑わいを生む施設の併設を検討すれば、発展性の有る計画になると考えられる。計画の根幹なので、基本構想には盛り込んで欲しい。(石原委員)
- ・敷地の整形化は課題感を持っているので、基本構想に盛り込む必要があると考えている。(事務局)
- ・敷地の整形化は提案をそのまま実現するのは難しいかもしれないが、一部採用するという選択肢も考えられる。(佐々木会長)

(2)町民ワークショップについて

- ・1 回目「現庁舎の課題」、2 回目「新庁舎に必要(重要)な機能」、3 回目「1、2 回目の議論を踏まえたまとめ」の全 3 回実施した。
- ・第 6 回審議会(庁舎視察)の報告。
- ・ワークショップについては理想と現実の違いが出てくると考える。(青木委員)

3.議事

(1)基本理念及び基本方針(案)について

- ・柔軟に変化に対応できる庁舎という副題は不要ではないか。基本方針で良く、基本理念としては不要だと考える。改めて「心の通う、近未来型スマート庁舎」を提案する。(石原委員)
- ・「みんなが集い、笑顔と自然と文化を未来につなぐ庁舎」とし、「～変化に柔軟に対応する庁舎～」については、基本理念にはなくても良いと考える。(岩本委員)
- ・柔軟に変化する庁舎というのはイメージしにくいのではないか(石原委員)
- ・今、社会がものすごい速度で変化している。ソフト面で解決すればよいという意見も分かるが、建築としてもスケルトンインフィルといった考えが必要だと考える。(佐々木会長)
- ・合併した近隣の市町村に行くと、立派だがあまり使われていない庁舎が有る。柔軟に変化に対応するというのは重要だと考える。(青木委員)
- ・柔軟に変化に対応することは「未来につなぐ」に含められるのではないか。(井上委員)
- ・他の市役所に行った際に実感したが、杉戸町庁舎は車いすが通行できるスペースやスロープ、エレベーター等が無く、本当に利用しにくい。(青木委員)
- ・基本理念から副題は除く方針とする。(佐々木会長)

(2)役場庁舎の導入機能について

- ・災害対策本部機能はどのように充実させるか。(岩本委員)
- ・現在2階の会議室を災害対策本部としているが、情報収集設備等が不足している。部屋の規模、情報収集設備、非常用電源、指揮命令系統を含めて検討していきたい。(事務局)
- ・防災拠点とあるが庁舎は避難所になるのか。(藤岡委員)
- ・庁舎の位置づけは防災計画に記載が有るが、役場庁舎は避難所として位置づけされてなく、災害対策本部になっている。(事務局)
- ・今回のワークショップでまとめられた機能は基本計画段階で詳細な検討が行われるものと考えた。審議会に出ていないような内容もワークショップ出ている。基本構想で具体化してしまうと後で方針を変えづらくなってしまいそうなので、次の基本計画段階で具体化しても良いのではないか。(井上委員)
- ・議場は議会以外の用途に使用するという文言が有るが、議員との意見交換会開催も考えられる。「議会以外」と記載するとそういったものが排除されてしまうのではないか。(青木委員)
- ・小鹿野町役場は家具を移動式として多用途に使用できる。議会としての年間の使用日数が少ないため、会議室等多用途に使用することも考えて必要が有

る。(事務局)

- ・「議会以外」を「多用途」に変更する。(佐々木会長)
- ・杉戸町らしさ、コミュニティー機能の記載が不足しているのではないか。(藤岡委員)
- ・コミュニティー機能を追加する。(事務局)

(3)規模及び事業手法等について

- ・3つの建替えパターン別に規模を検討した。(事務局)
- ・概算工事費は物価上昇に伴い増加する可能性が有る。(事務局)
- ・整備事業方式は前回、従来方式とDB方式に偏った評価になっているという意見が有った。事業方式は基本計画段階で、具体的な機能とともに検討していく方針とする。(事務局)
- ・第三庁舎を既存する場合どのような用途を考えているか。(青木委員)
- ・具体的な用途は基本計画以降に検討する。(事務局)
- ・本庁舎を全面的に改修して使用することも考えられるのではないか。(佐々木会長)
- ・町が活気づく新庁舎を望む。(石原委員)
- ・保健センター機能は高齢化に伴って増えるのではないか。(井上委員)
- ・概算費用は将来的な予測を含めて、幅を持たせて表現した方が良いのではないか。(佐々木会長)

4.その他

- ・基本計画の「50年後」は「50年後、100年後」としてはどうか。(石原委員)
- ・庁内会議において100年後の人口予測が困難だという意見が有り、あえて50年後としている。(事務局)
- ・発言しきれなかったことなど有りましたら資料5の意見書に記載のうえお送りください。(事務局)

5.閉会